

科目名	まちづくり工学
科目名(英訳)	Community Development Engineering
科目ナンバー	EC457E01
担当者 (非)は非常勤講師	服部 敦 岡本 肇
単位数	2
開講学年	3年
開講semester	春期毎週
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	【春学期】 岡本 肇・服部 敦:水3-4
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	<位置付け> 本科目は都市空間の総合的な整備手法を学ぶ科目である。 ◇学習・教育到達目標3「専門知識ならびにデザイン能力」-多様な分野に亘る土木工学の専門知識を幅広く修得するとともに、これら専門知識ならびに基礎知識を社会のニーズに基づいた問題の解決に応用することができる-の行動目標1と3を達成するための科目として位置付けられる。 ◇学習・教育到達目標4「環境倫理観ならびに使命感」-技術が及ぼす「自然」、「人工」および「生命」環境への影響について理解できる倫理観を持つとともに、社会貢献および人類への福祉貢献などに関して、技術者としての使命感を持つことができる-の行動目標4を達成するための科目として位置づけられる。 <学習・教育到達目標に対する関与度> 3.1◎ 3.3○ 4.1○ <履修順序> 都市と環境→社会システム計画→交通システム学、都市計画→まちづくり工学 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①:(3):◎ ③:○
身につく基礎力 / 身につく汎用力	傾聴・受信力 クリティカル思考力 / 専門的知識・技能 協調性・協働性(公益心) 実行力

授業の主旨 (概要)	都市環境に関する知識・技術を統合し、まちづくりに必要な都市デザインのための考え方、手法について学ぶ。																																				
具体的 達成目標	まちづくりの専門家として必要な専門知識及びデザイン能力として、都市景観の形成、まちづくりへの市民参加の推進、都市における多様な活動の創造を進めるためのデータの収集・分析手法及びデザイン手法を理解することにより、傾聴・受信力、クリティカル思考力を身につけ、技術者として必要な環境倫理観及び使命感を持って、都市デザインの進め方について他者に説明できるようになる。																																				
授業計画	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">1</td><td>【内容】</td><td>第1回 ガイダンス／調査・分析に基づくまちづくり</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">2</td><td>【内容】</td><td>第2回 事実の調査(1) 歴史</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">3</td><td>【内容】</td><td>第3回 事実の調査(2) 地形・空間</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">4</td><td>【内容】</td><td>第4回 事実の調査(3) 生活・計画</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">5</td><td>【内容】</td><td>第5回 都市の分析(1) 統計解析を用いた分析</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">6</td><td>【内容】</td><td>第6回 都市の分析(2) 都市の景観分析</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">7</td><td>【内容】</td><td>第7回 前半のまとめ・振り返り</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。</td></tr> </table>		1	【内容】	第1回 ガイダンス／調査・分析に基づくまちづくり	【授業外学習】	講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。	2	【内容】	第2回 事実の調査(1) 歴史	【授業外学習】	講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。	3	【内容】	第3回 事実の調査(2) 地形・空間	【授業外学習】	講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。	4	【内容】	第4回 事実の調査(3) 生活・計画	【授業外学習】	講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。	5	【内容】	第5回 都市の分析(1) 統計解析を用いた分析	【授業外学習】	講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。	6	【内容】	第6回 都市の分析(2) 都市の景観分析	【授業外学習】	講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。	7	【内容】	第7回 前半のまとめ・振り返り	【授業外学習】	講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。
1	【内容】	第1回 ガイダンス／調査・分析に基づくまちづくり																																			
	【授業外学習】	講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。																																			
2	【内容】	第2回 事実の調査(1) 歴史																																			
	【授業外学習】	講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。																																			
3	【内容】	第3回 事実の調査(2) 地形・空間																																			
	【授業外学習】	講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。																																			
4	【内容】	第4回 事実の調査(3) 生活・計画																																			
	【授業外学習】	講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。																																			
5	【内容】	第5回 都市の分析(1) 統計解析を用いた分析																																			
	【授業外学習】	講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。																																			
6	【内容】	第6回 都市の分析(2) 都市の景観分析																																			
	【授業外学習】	講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。																																			
7	【内容】	第7回 前半のまとめ・振り返り																																			
	【授業外学習】	講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。																																			

	8	【内容】	第8回 現地の調査(1) 地域資源・課題の抽出・共有			
		【授業外学習】	ワークの振り返りをA4用紙1枚以内でまとめる。			
	9	【内容】	第9回 現地の調査(2) まち歩き			
		【授業外学習】	講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。			
	10	【内容】	第10回 現地の調査(3) アンケート・ヒアリング1			
		【授業外学習】	講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。			
	11	【内容】	第11回 現地の調査(4) アンケート・ヒアリング2(ワーク)			
		【授業外学習】	ワークの振り返りをA4用紙1枚以内でまとめる。			
	12	【内容】	第12回 現地の調査(5) ワークショップ1			
		【授業外学習】	講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。			
	13	【内容】	第13回 現地の調査(6) ワークショップ2(ワーク)			
		【授業外学習】	ワークの振り返りをA4用紙1枚以内でまとめる。			
	14	【内容】	第14回 都市の分析(3) GISを用いた分析			
		【授業外学習】	講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。			
	15	【内容】	第15回 後半のまとめ・振り返り			
		【授業外学習】	講義の内容についてA4用紙1枚以内でまとめる。			
授業方法	講義形式。講義で実施した小テストの解答及びレポートへのコメントをコースパワー又は配布資料により提示する。					
成績の 評価方法	具体的達成目標の達成度を確認するため、授業ごとに小テスト又はレポートを課すとともに、前半及び後半の最後の授業時間の中で、全体を通した理解度を評価する確認テスト又はレポート作成を行う。					
成績の 評価基準	各授業ごとに行う小テスト等の合計で60点、確認テスト又はレポート40点(前半20点・後半20点)、合計100点中、60点以上を合格とする。					
教科書						
参考文献	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『まちの見方・調べ方 ―地域づくりのための調査法入門―』	西村幸夫他	朝倉書店	3456	978-4-254-26637-5
	2.	『建築・都市計画のための調査・分析方法』	日本建築学会	井上書院	4104	978-4-7530-1754-6